

2012年4月18日

各 位

会 社 名 東京センチュリーリース株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 浅田 俊一  
(コード番号 8439 東証1部)  
問 合 せ 先 広報 I R 室長 正 円 雅 章  
(TEL03-5209-6710)

## 印タタ・グループとのリース事業に関する業務提携に向けた覚書締結のお知らせ

当社は、Tata Capital Limited (代表 : Praveen P. Kadle、以下「タタ・キャピタル」と、インドにおけるリース事業に関する業務提携に向けた覚書を締結しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 1. 覚書締結の理由と目的

高い経済成長と消費拡大が期待されるインドでは、2012年4月から始まる第12次5カ年計画で、前計画の2倍となる1兆ドル(約80兆円)をインフラ整備に投じることとしており、税制改革や設備投資の増加を契機としてリース需要の拡大が見込まれる有望な市場です。

当社グループは事業領域の戦略的拡大に向け、中国・アジアを重点戦略地域としたグローバル事業を展開し、アジアでは既に中国やASEAN主要国などに12拠点(6カ国・地域)を構え、中国にはさらに4拠点の開設を準備しておりますが、今般、アジアネットワークをより一層充実すべくタタ・キャピタルとリース事業に関する業務提携に向けた覚書を締結いたしました。

この度の覚書締結により、当社はインド国内でのリース事業をタタ・キャピタルと協働することで、インドにおける収益基盤及び日系企業のサポート体制を構築するとともに、将来的には合弁会社を設立することを検討してまいります。

タタ・グループは、情報通信、エンジニアリング、素材、サービス、エネルギー、消費財、化学の7つの事業分野をカバーする100社を超える事業会社により構成され、同グループは世界6大陸をまたぐ80ヶ国で事業を展開、85ヶ国に製品、サービスを輸出しています。

タタ・キャピタルは、インドの金融システム上重要な、預金を受け入れないノンバンク金融会社としてインド準備銀行に登録されており、総合金融プロバイダーとして、インド、シンガポール、ロンドンの事業法人、機関投資家、個人顧客向けに、各種ファンド、手数料ベースの金融サービス、商品を提供しています。

当社は、タタ・キャピタル社内にジャパングラスを設置し、タタ・キャピタルが有するインドでのビジネスノウハウと当社及びみずほフィナンシャルグループの顧客基盤を活かして日系企業のインド進出をサポートいたします。また、販売・製造拠点として設備投資ニーズが高まる日系企業向け及び非日系の大企業や官公庁等向けに、建設機械、仮設電力など比較的大型の機械装置から、医療機器、IT関連機器まで様々な機械装置を対象としたリース事業を展開してまいります。

### 2. タタ・キャピタルの概要

- (1) 商 号 : Tata Capital Limited
- (2) 本 社 所 在 地 : インド共和国ムンバイ
- (3) 主 な 事 業 内 容 : ノンバンク金融会社
- (4) 資 本 金 : 255億ルピー(約408億円)
- (5) 株 主 : Tata Sons Limited (>90%)
- (6) 設 立 年 月 : 2007年9月

### 3. 業績に与える影響

本件が2013年3月期の当社連結業績に与える影響は軽微であります。

以 上